

会員事業所景況実態調査平成28年7月～9月分集計結果

調査依頼数:520 回答数104 回答割合:20.0%

今年度2回目の会員事業所景況実態調査となり、調査結果について下記のとおりに報告いたします。調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した7月～9月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	17	41	45	103	▲27.2	▲28.7
	採算	13	50	40	103	▲26.2	▲33.3
	仕入単価	5	61	36	102	▲30.4	▲27.0
	従業員	21	80	1	102	19.6	16.2
	業況	9	55	37	101	▲27.7	▲36.2
	資金繰り	7	74	21	102	▲13.7	▲22.6
建設・建築業	売上	4	13	5	22	▲4.5	▲19
	採算	3	11	8	22	▲22.7	▲14.3
	仕入単価	1	16	5	22	▲18.2	▲19
	従業員	5	17		22	22.7	▲4.8
	業況	1	15	6	22	▲22.7	▲28.6
	資金繰り	3	15	4	22	▲4.5	▲23.8
製造業	売上	4	2	10	16	▲37.5	▲33.3
	採算	4	6	6	16	▲12.5	▲22.2
	仕入単価	2	7	7	16	▲31.3	▲30.8
	従業員	5	10	1	16	25.0	18.5
	業況	3	5	7	15	▲26.7	▲29.6
	資金繰り	2	11	3	16	▲6.3	▲7.4
卸・小売業	売上		3	12	15	▲80.0	▲60.0
	採算		6	9	15	▲60.0	▲62.9
	仕入単価		8	7	15	▲46.7	▲34.3
	従業員	2	12		14	14.3	8.8
	業況		4	11	15	▲73.3	▲60.0
	資金繰り		8	7	15	▲46.7	▲40.0
飲食・サービス業	売上	4	7	6	17	▲11.8	10.0
	採算	2	10	5	17	▲17.6	▲15.0
	仕入単価	1	11	4	16	▲18.8	▲40.0
	従業員	3	14		17	17.6	35.0
	業況	2	10	4	16	▲12.5	▲30.0
	資金繰り		13	3	16	▲18.8	▲44.0
その他	売上	5	16	12	33	▲21.2	▲22.2
	採算	4	17	12	33	▲24.2	▲34.3
	仕入単価	1	19	13	33	▲36.4	▲45.7
	従業員	6	27		33	18.2	8.1
	業況	3	21	9	33	▲18.2	▲25.7
	資金繰り	2	27	4	33	▲6.1	▲11.8

(全体)

前回より仕入単価、従業員以外はDI値が改善している。仕入単価、従業員は前回より悪化はしているが、それほどでもない。従業員は全業種でプラスに転じ人手不足感が強まっている。

(建設・建築業)

前回より採算、従業員以外はDI値が改善し、売上、資金繰りは10ポイント以上改善している。従業員では、前回より大幅に悪化しマイナスからプラスに転じている。

(製造業)

前回より売上、仕入単価、従業員以外はDI値が改善し、特に採算は大きく改善している。従業員では、前回よりやや悪化が目立つが、売上・仕入単価は前回より若干悪化している。

(卸・小売業)

前回より採算以外はDI値が悪化している。特に売上、仕入単価、業況で10ポイント以上悪化している。また、採算も前回よりは若干改善しているが、マイナスポイントは依然としてかなり高くなっている。マイナスポイントが全体的に非常に高くなっている。

(飲食・サービス業)

前回より、売上、採算以外はDI値が10ポイント以上改善している。売上、採算もほぼ前回並みのDI値となっており、ほとんど悪化はしていない。

(その他)

前回より従業員以外はDI値が改善しており、特に採算は10ポイント以上改善している。従業員は10ポイント以上悪化し、依然人手不足が強まっている。

【質問 B】 平成28年度賃金の引上げについて**①実施状況**

	実施・実施予定	未実施	未定	合計	割合(%)
全体	54	33	15	102	52.9
建設・建築業	13	6	2	21	61.9
製造業	11	5		16	68.8
卸小売業	5	5	4	14	35.7
飲食・サービス業	9	5	3	17	52.9
その他	16	12	6	34	47.1

②内容(複数選択)

※①で実施・実施予定と回答した事業所のみ、②についても回答

	定期昇給	ベースアップ	手当新設・増額	その他	合計
全体	36	15	5		56
建設・建築業	9	4	1		14
製造業	9	1	1	1	12
卸小売業	4	1			5
飲食・サービス業	7	1	1		9
その他	7	8	2		17

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

<全業種合計>

1位	売上不振
2位	利益が上がらない
3位	消費・需要の停滞
4位	仕入価格の上昇
5位	販売単価・受注単価の低下
6位	従業員の技術力不足
7位	従業員不足
8位	後継者不足
9位	消費者ニーズの変化への対応
10位	大型店等の進出等による競争激化
11位	事業資金の借入難
12位	在庫過剰

<建設・建築業>

1位	利益が上がらない
2位	売上不振
3位	後継者不足

<製造業>

1位	売上不振
2位	利益が上がらない
3位	従業員の技術力不足

<卸・小売業>

1位	売上不振
2位	消費・需要の停滞
3位	利益が上がらない

<飲食・サービス業>

1位	利益が上がらない、消費・需要の停滞
2位	売上不振
3位	仕入価格の上昇

<その他業種>

1位	売上不振、利益が上がらない
2位	仕入価格の上昇、従業員不足
3位	消費・需要の停滞

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

※今回は、当所に対するご意見・ご要望は会員事業所アンケートと重複しているので、行政のみです。

- ・賃金を引き上げたいが、社会保険料の負担も増え、手取りはあまり変わらない。
社会保険料の軽減をお願いしたい。(建設・建築業)
- ・第一四半期(4月~7月)の発注件数が極端に少なく、新規採用や採算面に問題が生じている。
通年施工ができるようお願いしたい。(建設・建築業)
- ・平成28年度はすべての役所で予算削減で仕事も少ないので、今期の売上は大幅に減少する予想。
予算確保をお願いしたい。(建設・建築業)
- ・大企業中心の施策となっているので、中小企業の現況を考えた施策を考えてほしい。(建設・建築業)
- ・衰退していく業界への対策に取り組んでほしい。(卸・小売業)
- ・行政には期待できない。アベノミクスの効果が少ないので、早く終わってほしい。(卸・小売業)
- ・早く安全に原発を稼働してほしい。(その他)
- ・東京一極集中(特に中央官庁)を地方へ分散するべきだ。(その他)
- ・現状の入札制度について、産業育成も考慮し、適正な利潤が確保され企業の健全な継続発展が可能となる制度にしてほしい。(その他)